

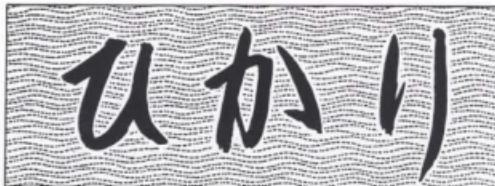
No. 69

2006年(平成18年)
7月1日

発行

浄土真宗本願寺派
和歌山教区日高組責任者
鈴木悟峰

妙好人 浅原才市翁
ナムアミダブを申しておるよ
如来さんはどこに居る
才市がここに満ち満ちて
ナムアミダブを申しておるよ



教専寺本堂鐘楼改築、親鸞聖人750回大遠忌法要 (H18.4.30)

私たちも、教育とは物事を教え、反復練習させ、
覚え込ませ、理解させることだと考えがちです。
英語の單語、數字の公式、歴史の年号など膨大なも
のを子供に覚えさせます。その知識量の多いものが
賢者といわれます。これは今も昔も変わりません。
そんな中で、この周利槃陀伽のお話は、私たちに一
途な心によつて、智慧というものを教えてくれてい
きなかったからです。

世の中には何をしてものあらこちらに氣を散らす
人がいます。周利槃陀伽には、この「途さ」がありま
す。たなここと言いたいのは、人の一心の「途さ」
その悟りに至らすもの、「途さ」なのです。
周利槃陀伽もこのことがわかり、悟りを開いた。
このお話をある布が仏典により等であつたりしま
す。たなここと言いたいのは、人の一心の「途さ」
汚れが、「除けられたのだ」と言われた。さすがの
白い布を与え、「塵を除け」と言ひながら掃
除をしなさいと仰られた。こうしているうちに、白
い布はすっかり汚れ、これを見おしゃか様は、「こ
の布が汚れたのではない。人間の心にある塵や垢の
きなかつたからです。

周利槃陀伽は兄に統いて出家しました。兄は賢か
ったのですが、周利槃陀伽は愚かでした。

阿弥陀経に聞く

日本私連では、無常という事ばを思い浮かべるのは、どのような時でありますよ
うか。

寂しい時や、虚しいと思
った時でしょ。うか。

情けない時や、佗い時
でしょ。うか。病気になつた
時でしょ。うか。

バラの花を眺めてしま
ふら、お祝迎さまでのお祝
めあります、舍利弗さまと
目連さまのお話を想いだし
ました。

り、みんなはたいへん喜ばれました。
そのお話を思い浮かんだ時、ふと私は、「あと何度バラの花を見ることができるのだろうか」と思いま
た。たゞ、「蓮如上人御^一代記聞書」の中で、
仏法には、世間のひまを^二開て、きくべし。世間を開いて法をきくべき様に思つて、浅聞^三ことなり。
仏法には明白という事は



そのバラの花を、本堂の階段に座って眺めていますが、咲き残りかけの花びらが、風によつて散っていく姿がありました。

地面には、色とりどりの花びらが散って、茶色へと移り変わっています。

その情景を見て、「無常」ということが、思い浮かべてしましました。

無常とは、全てのものが変化して、変わっていくことです。

自坊の庭には、五十種類程のバラを植えています。毎年、1月中旬頃になりますと、一斉に花が咲かせび、目を楽しませてくれます。バラは、種類によつて、四季咲きと一季咲きなどがあります。

法話

の
花

い踊る人々は、百年経てば誰一人も生きとはいえない」と気づかされました。盛り上がった瞬間に自分の孤独さと、人生の無常を感じ、両親の反対を拒み、そして道を求めてました。そして、お駄廻さまに会い、お弟子にならましめた。お駄廻さまは、「金利無さま、日連さま、お弟子となられた方々の前にお弟子となられたお嬢さまの願いに生きる教えをお説きにならましめた。

二人がまだ、お祝迎きま
のお弟子となる前に、近くの山の山のお祭りを見に行った時のことです。

あいがじゆの石宮の事件

法悦 クアズ

下の1～3の○内にあてはまる漢字を組み合わせて、次のヒントが説明している語を答えて下さい。

ヒント：宗祖親鸞聖人以来、歴代ご門主様より御同行に示される、ご法義のお手紙のことを敬ってこの様に申し上げます。

1	2	3
○ 災に暮す	○ 同朋	○ 費者

官製ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、所属寺、御感想、御意見等を明記の上、
〒640-1221
日高郡日高町志賀3851
喜宗寺内 組長事務所
までお送りください。
桜葉道で10名の方に品物を差し
上げます。
添締め切り日
平成18年9月30日
桜発表は次号

68号の正解は、「恩徳讃」でした。正解者の中から、次の方に粗品を進呈いたします。

善宗寺	円行寺	光尊寺	念興寺	光台寺	覺性寺	覺性寺	淨明寺	信當寺
稻葉	鈴木	中本	岩崎	村上	浜田	深海	岩崎	小林
英 文	文 子	笑 子	惠 子	廣久	善子	純子	信 子	淳 美
様 樣	様 樣	様 樣	樣 樣	樣 樣	樣 樣	樣 樣	樣 樣	加 樣

より消息が漏洩がなされ、日高組鈴木組長がこの消息を握り、日高組は専務幹事長より連絡を受けた。旨演述がなされた。

統いて第一部、本願寺尊の御布教使の海草組・方寺等は、職が行われ、宗祖親鸞聖人のこの生涯を中心としたおみ法話を聴聞した。その後、岩崎相談員を座長に、大河原振興計画などのビデオ視聴と話し合いが行われ、門信徒の方々ともに活潑な意見交換がなされた。

最後に、参加者を代表して、妙願寺補原住職より、大註定法要の円成と長期振興計画の推進に向けて、決意表明がなされ閉会した。

六月十一日(日)、日高町に賀妙願寺に於いて、「日吉組親鸞聖人七五〇回大遠忌」についての消息披露され、門徒総代・婦人の住職・衆徒等が参集した。午後一時半より第一部、和歌山教区教務所長・本麻寺葛原別院輪番水上義乘院と、高組鉛木組長がご消息を捧持、水上教務所長より演達がなされた。

親鸞聖人七五〇回
大遠忌についての消息



話し合い法座の様子

ころが今日では、人間中心の考えがいよいよ強まり、一部の人びとの利益追求が極端なまでに拡大され、世間的な格差を生じ、人類の

職岩滑水昌子・師より記念券を
教が行われ、宗祖親鸞聖人の
ご生誕を中心としたおみ
法を聴聞した。その後、
崎相談室を座長に、大遠見会
長期振興計画などのビデオ
視聴と話し合いが行われ、
門信徒の方々とともに活動
な意見交換がなされた。
最後に、参加者を代表して
て妙願寺楠原住職より、大
恩忌法要の円成と長期振興計
画の推進に向けて、決意を
表明がなされ閉会した。

親鸞聖人七五〇回大遠忌についての消息

平成十四年一月十九日御靈廟にて、親鸞聖人の七五〇回忌にあたります。本願寺では、「ご修復を終えた御靈堂において、親鸞聖人七五〇回大遠忌をお祝いする式典」を平成二十三年四月よりお勤めする運びとなりました。このご臨縁に、聖人のご苦労をしのぎ、お徳を讃えるとともに、淨土真宗のみ教えを深く受けとめ、混迷の時代を導く灯火として、広く伝わるよ

みならず、さまざまなもののが危うくなっています。さらに、急激な社会の変化で、一人ひとりのいの

の活動には門信徒が参加し、多くの活動で世の交響にも対応移動や世代の交替が困難になっています。宗門では、このたびのこの法要組織として、長期にわたる諸計画が立てられ、広く淨土真宗が伝わるよう取り組むことになります。七〇一九年十二月十九日、始めて開かれた門信徒会運動、重要な課題である同朋運動の精神を受け継ぎ、現代社会に応える宗門を築きたいと思います。そのためには、人ひとつの悩みや思いを受けとめ共有する広い心を養い、

ころが今日では、人間中心の考えがいよいよ強まり、一部の人びとの利益追求が極端なまでに拡大され、世間的な格差を生じ、人類の

職岩滑水昌子・師より記念券を
教が行われ、宗祖親鸞聖人の
ご生誕を中心としたおみ
法を聴聞した。その後、
崎相談室を座長に、大遠見会
長期振興計画などのビデオ
視聴と話し合いが行われ、
門信徒の方々とともに活動
な意見交換がなされた。
最後に、参加者を代表して
て妙願寺楠原住職より、大
恩忌法要の円成と長期振興計
画の推進に向けて、決意を
表明がなされ閉会した。

親鸞聖人七五〇回大遠忌についての消息

平成十四年一月十九日御靈廟は、親鸞聖人の七五〇回忌にあたります。本願寺では、「ご修復を終えた御靈廟堂において、親鸞聖人七五〇回大遠忌をお祝いする式典」を三年四月よりお勤めする運びとなりました。このご臨縁に、聖人のご苦労をしのぎ、お徳を讃えるとともに、淨土真宗のみ教えを深く受けとめ、混迷の時代を導く灯火として、広く伝わるよ

ません。しかしながら、今日、宗門を概観しますと、布教や儀礼と生活との間に隔たりが大きくなり、寺院

